

# 第42回JCCP国際シンポジウム

## “人・技術・国際協力による持続可能エネルギー社会の実現”

日時：2024年1月25日（木）10:00-17:30 オークラ東京

### 開会式



開会宣言：JCCP CEO/専務理事  
中井毅



開会挨拶：JCCP 理事長 鈴木康公



挨拶：経済産業省資源エネルギー庁  
資源・燃料部 部長 定光 裕樹様

第42回JCCP国際シンポジウムを開催いたしました。

今回のシンポジウムでは、持続可能なエネルギー社会の実現を目指し、人材育成、技術革新、国際協力を最重要課題として再認識しました。国際社会における石油・ガス産業の今後の発展とエネルギー転換について洞察を深めることができました。経済産業省、産油国、各国駐日大使館、国内外企業、団体などから**約270名**の方々が会場にご参加いただきました。

## リーダーズパネル1 “人・技術・国際協力による持続可能エネルギー社会の実現”



モデレーター：JCCP CEO 中井

持続可能エネルギー社会の実現に向けて、中東・アジアの産油・産ガス国の政府関係者、石油・ガス産業・エネルギー・技術の専門家の中で活発な意見交換がなされました。各国が様々な方向から課題に取り組む中で、共通の目標達成やオープンイノベーションに繋がる国際協力の重要性を再確認いたしました。

各講演資料は、[実績から](#)ご覧ください。



## リーダースパネル2 “新たなニーズに応える経営と人材育成”



座長：コスモ石油(株)  
取締役執行役員  
境 剛太様



カーボンニュートラル化、DXやAI化を推進する人材の育成方法に関する情報や、将来のリーダー育成に向けた具体的な計画が共有されました。政府・産業・大学の3者が連携を取り、大きな変革に対応する必要性についても共通認識がありました。さらに、マインドセットとカルチャーを変革するための仕組みや人事制度の必要性についても言及されました。今後の戦略を担う人材の育成について、課題と解決策が共有され、情報交換の意義が再認識されたパネルでした。

各講演資料は、[実績から](#)ご覧ください。

## リーダーズパネル3 “炭素インテンシティ低減に向けた多様な技術と取り組み”



座長：千代田化工建設株式会社  
 常務執行役員 フロンティア ビジネス本部  
 本部長 松岡 憲正様



カーボンニュートラル/ネットゼロに向けた取り組みには、各国の国情・エネルギー事情によって異なり、特色のあるアプローチが展開されている事が理解できました。各国の強みを活かしたアプローチが現実的であり、再生可能エネルギーの導入や省エネ技術の開発も必要です。さらに、CCSやCCUS、eFuel、低炭素水素などを効率よく低コストで実現できる技術開発が重要であり、持続可能なサプライチェーンの構築や政府支援・規制の必要性も強調されました。各国がエネルギー事情や経済状況を考慮し、国際協力と技術開発によるスマートなエネルギーtransitionの実行に向けた取り組みについて議論されました。

各講演資料は、[実績から](#)ご覧ください。